

2026.1

秋田県暴追センター

Joho

No 272

発行 公財) 秋田県暴力追放運動推進センター (旧名称 暴力団壊滅秋田県民会議)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

018-824-8989 FAX 018-824-8990

群馬で「ビジネスメール詐欺」が発生しています。この詐欺は、会社経営者を名乗る偽メールの指示に従業員が騙される被害になります。ある不動産会社で1月9日、経理担当者の男性に社長を名乗る人物から「業務の都合で新しくラインのグループを作成してほしい」とメールが届きました。指示に従った男性に対し、社長を名乗る人物はラインのグループチャット内で「入金予定の資金があるので振り込み手配を行なってください」と追加の指示を出し、男性は指定口座に2千万円を振り込み、結果、騙し取られています。※電話等で本人確認が必須です。

## ◎特殊詐欺阻止活動実施 ◎賛助会員募集しております。

### ◎トクリュウ対策強化の一環として特別対策本部を発足～警視庁

匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)対策強化の一環として、警視庁暴力団対策課は、指定暴力団住吉会傘下組織「幸平一家」の特別対策本部を発足させています。暴力団全体が減少傾向にある中で勢力を一定程度維持し、トクリュウが絡む特殊詐欺事件などで組員の摘発が相次いでいます。

警察庁のまとめによると住吉会は東京都内に本部を置き令和6年末時点は1都1道14県で構成員・準構成員など約3,200人で、2次団体の幸平一家は都内の住吉会勢力の約半数を占め、池袋や新宿・歌舞伎町などを拠点としています。暴力団構成員が減少の一途をたどる中、住吉会の組員の減少幅は比

較的少ない。幸平一家が違法な資金獲得活動を多様化・活性化させ、暴走族OBや若者を取り込んでいくことが背景にあるとみられます。令和7年に警視庁が特殊詐欺事件で摘発した暴力団構成員・準構成員などの約6割が住吉会系の構成員で、その内7割が幸平一家傘下でした。警視庁は幸平一家がトクリュウの後ろ盾になっているとみて捜査を進めています。特別対策本部は刑事部長をトップとし、組織実態や資金獲得活動の解明などに取り組む方針です。警視庁では「幸平一家を野放しにすれば、トクリュウ対策の成果も薄れてしまう、対策を協力に推進していく」と説明しています。

### ◎当センターの活動、闇バイトの危険性について

当センターでは少年に対する闇バイトの危険性の周知活動を行なっています。活動の一部をご紹介いたします。既に、報道でご存じと思いますが、先般、秋田市内の高校において「全校生徒を対象とする講

演会の開催」、教育庁を通じて県内全域の高校に闇バイトの危険性を解説した「図書を寄贈」しております。(このような活動を維持できるのも賛助会員皆様の力強いサポートがあるからであります。ありがとうございます。)社会的に「闇バイト」という用語が頻繁に使用されていますが、単なるアルバイトなどではなく犯罪行為です。「闇バイト」の募集は、犯罪実行役の募集にほかなりません。実態は、切り捨て要員の実行役を手広く募集するものであり、私達は「闇バイト」に関わることで少年にどのような危険が及ぶか、少年に伝え続けていく必要があります。犯罪金は暴力団の資金源にも繋がります。「遂行しても、全く報酬が支払われない」「逮捕された」事例のように、約束の報酬を元から支払うつもりはなく、少年を都合良く利用し、簡単に切り捨てます。入手した個人情報を基に、少年を執拗に脅迫し、恐怖心を植え付け、少年が犯罪に加担することを断つたり、離脱することを阻止します。警察に逮捕されるまで使われ続け、得られるものは何もありません。痛ましい犯罪から少年を守るには保護者をはじめ少年の健全育成に関わる方が「闇バイト」募集の実態や危険性、悪質性を具体的に発信することが重要です。当センターは、暴力団の魔手から「秋田県民の安全安心」を懸命に守り続けます。※諦めずに早期の相談をお願いします。

暴追センター・相談専用電話 0120-893-184 (0120-ヤクザ-イヤヨ)